



# うじいえ 自然に親しむ会

会報誌 第25号  
令和5年2月1日  
(2023年)



## ごあいさつ

新年となり、既に1か月余りが経過しました。会員の皆様におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和4年中は、新型コロナウイルスのみならず、世界的な激動の中での日常生活にもかかわらず、多大なるご支援・ご協力をいただき、大変ありがとうございました。

徐々に新型コロナウイルスとの付き合い方に慣れてきた昨今、皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。本会の活動は、感染対策を実施しつつ、何とか実施できている状況です。是非、ホームページやFacebook、YouTube等の閲覧やLINE公式アカウントへの登録等により情報を得ていただけると幸いです。

さて、令和4年が過ぎ去り、新年となりましたが、本会報誌では昨年の出来事を振り返り、様々な新たな取り組みを皆様にお知らせしたいと思っております。今後とも本会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ミヤコグサ

令和5年2月1日



うじいえ  
自然に親しむ会

会長 高橋 伸拓



## 保全地の管理作業・環境改善への取り組み

これまで、シナダレスズメガヤの対策に尽力してきた本会の活動ですが、近年は保全地内のみではあるものの、影響が少ない状況が続いています。そのような状況の中、別の種「オオフタバムグラ」の猛攻によりカワラノギクが衰退する状況が見られました。特にゆうゆうパークの第2管理地と氏家大橋上流カワラノギク保全地での繁茂が激しく、多くの労力をつき込み、取り切れなかったものが実をつけてしまったため、ブロワーで吹き飛ばす措置を施しました。



外来種：オオフタバムグラ（第2管理地）

このオオフタバムグラは、保全地内に徐々に増えてきました。持ち込まれた要因は、保全地内に糞が多く見られる“ニホンノウサギ”に付いてきたと考えられています。カワラノギクに関する既往の研究では、30%程度遮光されるだけで生育が阻害されるという結果があり、カワラノギクの幼苗に影響が出てしまっています。

保全地周辺の刈り払いを進める「しなだれバスターズ」によって、高茎草本やクズ等の保全地への侵入も抑えられつつあり継続的に実施しているところです。しかし現状では、カワラノギクの小さな幼苗がオオフタバムグラに被覆されることや、保全地全体の土壌が締め固まりつつあることなどから、今後は除草作業の強化や抜本的な対策が望まれています。

そのような中、国土交通省下館河川事務所氏家出張所の協力により、氏家大橋上流カワラノギク保全地の一部区間を天地替えする工事が実施されました。この区間のカワラノギクの幼苗250本を移植するとともに、天地替え工事後は前年の種子を播きました。この対策で天地替え区間のカワラノギク幼苗の成長が良く、さらに1年目でも開花する個体が現れるなど、良好な結果が得られています。



### 生物多様性に資する環境教育

コロナ禍で滞っていた氏家地区の小学校への出前授業や鬼怒川河川敷での除草体験ですが、徐々に再開してきました。喜連川地区の中学校では令和4年度も中止となりましたが、年1回の座学を実施しています。今後は、氏家地区では中学校や高等学校、喜連川地区では小学校に対して生物多様性や地球環境に関する教育を進めたいと考えています。

保全地での管理作業では、中学生や高校生に募集をかけ、多くのユースボランティアが協力してくれています。除草をするだけではなく、その場で様々な生き物たちが見られ、生態等が体感的に学べる「除草活動」が環境教育として重要な活動だと考えています。





## 法務行政への協力

令和3年から協力している「喜連川社会復帰促進センター」での環境教育では本年度に入り、1) ミヤコグサの株の提供、2) カワラノギクの幼苗と種子の提供、3) 教育動画素材の提供の3点を実施するとともに、ニホンミツバチの飼育に向けた準備を行っています。また、令和5年1月17日には、サステナブルプリズン事業の成果報告として、法務大臣に表敬訪問し、共同通信社から全国の地方紙に情報提供され、記事掲載となりました。動画はYouTubeチャンネルにて一部を公開しています。



齋藤法務大臣、花塚市長と関係者で記念撮影

### 1) ミヤコグサの株の提供

ゆうゆうパーク内の第2管理地の隣接地に自生するミヤコグサの株をプランターに移しセンターに提供しました。センター内で順調に生育し、事務室内にて2個体のシルビアシジミ（斃死個体）を確認しました。提供してから経過時間を考えると、提供したミヤコグサに卵が複数付着して孵化後成虫となった2世代目と考えられ、持続的に繁殖する可能性があります。

### 2) カワラノギクの幼苗と種子の提供

第2管理地に隣接した区域で、昨年採取した種子の一部をプランターに播種、並びに幼苗をセンターに提供しました。センター内で順調に生育、多くが開花・結実し、本会への贈呈式が執り行われました（3月18日に鬼怒川へ播種）。

### 3) 教育動画素材の提供

これまで作成した本会のDVDやパワーポイント等の資料を提供するとともに、宇都宮大学での講義やカワラノギクの種贈呈式の撮影を主として素材の提供を行いました。

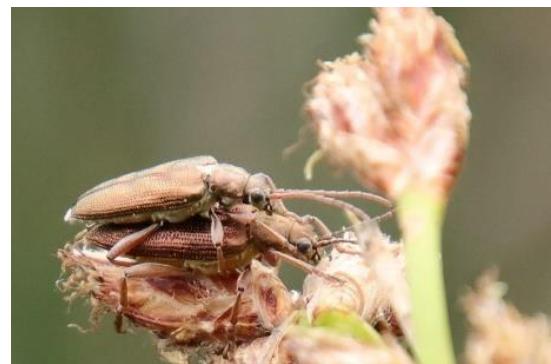
うじいえ自然に親しむ会の  
YouTubeチャンネル (QRコード)



## 希少生物のモニタリング調査・保全対策

### 1) アカガネネクイハムシの生息調査

令和元年東日本台風（台風第19号）で被災・決壊した向溜に繁茂するフトイを食草とする昆虫「アカガネネクイハムシ」が令和4年5月の調査でも多くの個体の繁殖が確認されました。本種は、栃木県内ではこのため池だけに生息が確認されている絶滅危惧種です。



アカガネネクイハムシ

## 2) コアジサシの繁殖場調査、保全地の検討

コアジサシは、栃木県では絶滅危惧種に指定された鳥類で、繁殖地の最北がさくら市周辺の鬼怒川となっています。令和4年5月、氏家大橋から岡本頭首工までの間を広範囲に調査しました。調査の結果、中岡本周辺の河川敷で繁殖行動が確認されました。確認された鬼怒川右岸の地点は、国土交通省下館河川事務所氏家出張所が実施した工事後の空き地となっており、保全地として検討し、可能な限りの保全対策を実施していきたいと考えています。



コアジサシ



### 各種、自然観察会

基本的に予定された観察会は実施できました。この他には、多面的機能交付金事業を行っている組織の“田んぼまわりの生きもの調査”の支援を行いました。



ヤマブキソウ観察会



シルビアシジミ観察会



夏休み昆虫観察会



伝説の池 水辺の生きもの観察会



トンボの勉強会



キッズ&森のようちえんフェス



## 「(仮称)蝶の舞う郷キャンプ場」の整備開始

鬼怒川河川敷の「鬼怒運動公園」に隣接する旧バーベキュー場を再整備し、キャンプ場とする構想が具現化してきました。まずはキャンプサイト周辺の森が荒れているため、下草刈りと間伐を行いました。当初、キャンプサイトから河川敷が見えませんでしたが、すっきりした森となりました。また、キャンプサイト周辺に多く自生しているエノキの落ち葉を調べると、ゴマダラチョウの幼虫が越冬している状況が確認でき、オオムラサキも期待できると思います。なお、キャンプサイト中央に配置されているキャンプファイヤー場跡地をミヤコグサ（シルビアシジミの食草）の花壇として整備しました。

今後、本年5月には現状のままでのプレオープンとし、1年間の試験的な運営を行い、令和6年春季には本格オープンしたいと考えています。



キャンプサイト全景



参加者は元気いっぱい



刈払機やチェーンソーの音が響く



間伐が進んだ林



ミヤコグサの花壇整備



## 他の活動

その他、様々な活動への対応を行ってきました。精力的な行動が会員をはじめとする多くの活動参加者間のコミュニケーションの場となっています。

- ・勝山公園「アズマヒキの池」にて、アズマヒキガエルの幼体の上陸を確認
- ・お丸山東斜面への保護区設定／お丸山会議（さくら市）への参加
- ・ゆうゆうパーク「オオキンケイギク」駆除作業（宇都宮白楊高等学校・さくら市職員）
- ・瀧澤家住宅 夏休み企画（さくら市ミュージアム）
- ・氏家ロータリークラブの例会における卓話
- ・ゆめ！さくら博
- ・宇都宮市環境学習センターの事業「環境大学」／市民大学専門講座
- ・宇都宮大学特別講義「鬼怒川中流域の環境保全を題材とした研究」
- ・桂川・相模川流域協議会との交流
- ・日本野鳥の会栃木県支部の「勝山公園探鳥会」および「ビギナー探鳥会」
- ・サシバの里自然学校の「生きもの塾」および「生きものキャンプ」への支援



上陸したアズマヒキガエル幼生



お丸山の保護区設置



宇都宮白楊高校とさくら市職員



瀧澤家住宅での実施状況



氏家ロータリークラブでの卓話



ゆめ！さくら博での実施状況



## 編集後記

近年、初となる取り組みが多くなってきました。当会のような自然保護団体が法務行政に関わることやキャンプ場の運営など、未知の状況が続いている。これにより従来の保護活動が手薄になることの無いよう、尽力していきたいと思います。加えて、各種の講師依頼などが多くなりつつあり、NPO 法人の検討が遅れているといった課題があります。今年はなるべく早い段階で NPO 法人化の手続きを進めていければと思っております。保全活動に対しては、皆様のご協力があってこそですでの、どうぞよろしくお願ひいたします。